

関係各位

2009 年 3 月 10 日  
株式会社 構造計画研究所

**構造計画研究所、経済産業省委託事業「ハイ・サービス日本 300 選」に選出される。  
～ 学問知と経験知を結ぶ「知の展開」による、付加価値の高いサービス創出が評価 ～**

株式会社構造計画研究所（以下、構造計画研究所）は、経済産業省の委託事業として サービス産業生産性協議会（財団法人社会経済生産性本部内、牛尾治朗代表幹事）が行う、「ハイ・サービス日本 300 選」に選出されましたので、お知らせいたします。

選出理由は、構造計画研究所が、大学や研究機関で追究される「学問知」と、社会の実務から得られる「経験知」を結びつけ、その相互作用から生まれる「エンジニアリング（工学知）」をサービスとして提供し、付加価値の高いサービスを創出していることが高く評価されたことです。

構造計画研究所は、1959 年の設立以来「大学、研究機関と実業界とをブリッジする総合エンジニアリング企業」を経営理念とし、「知」をつなぎ、つむぎだすエンジニアリングの本質を大切にするプロフェッショナル・エンジニアリング・ソリューション・ファームを目指してまいりました。構造設計事務所として創業して以来、多様な社会的要請に対して、既存の枠組みにとらわれることなく、自ら生み出した「エンジニアリング」によって、建設分野、情報・通信分野、製造分野、意思決定支援分野における様々な課題に、高付加価値を実現するソリューションでお応えしてまいりました。今回の受賞を励みとし、構造計画研究所は「工学知」を通じてより高い付加価値を社会に提供する「知識テクノロジー企業」として、これからもより多様な分野における皆様の期待に応え続けてまいります。

■「ハイ・サービス日本 300 選」とは

生産性向上に役立つ先進的な取り組みを表彰・公表することにより、企業の一層の取り組みを喚起するとともに、先進事例をベストプラクティスとして広く普及・共有することで、サービス産業全体の生産性向上を図る事を目的に実施されております。選定は、選定委員、各関係機関、オブザーバー省庁などからの推薦に基づき、選定委員会（野村総合研究所シニア・フェロー村上輝康委員長）が行い、生産性向上に資する先進的な取り組みを行う企業・団体が選ばれ表彰されます。年に 3 ～ 4 回、各回 30 組織前後を選定・公表し、2007 年から 2009 年までの 3 年間で 300 選を目標とされております。

選定に当たっての評価項目は、報告書「サービス産業におけるイノベーションと生産性向上に向けて」（平成 19 年 4 月経済産業省）にあげられた以下の 6 項目を評価項目の基礎として、サービス産業のイノベーションや生産性向上に資する取り組み（ベストプラクティス）が表彰されます。

科学的・工学的アプローチ、 サービスプロセスの改善、 サービスの高付加価値化、 人材育成  
国際展開、 地域貢献

今回、構造計画研究所は 科学的・工学的アプローチの評価項目にて選定されました。

詳細 [http://www.service-js.jp/cms/news\\_attach/090310\\_tenpushiryoku.pdf](http://www.service-js.jp/cms/news_attach/090310_tenpushiryoku.pdf)

■本件に関するお問い合わせ先

株式会社構造計画研究所 広報担当 佐藤仁宣、松本飛鳥

TEL:03-5342-1032 FAX:03-5342-1222 e-mail:kkeinfo@kke.co.jp

<http://www.kke.co.jp>